

■セキュリティ・ミニキャンプ in福岡 講師レポート

○1月19日（土）

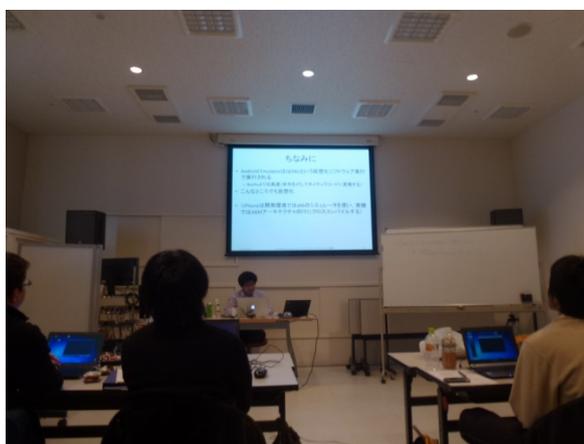
○○13:10-14:00 セキュリティ基礎、グループワーク（講師：園田道夫）

身近な出来事に根ざしたセキュリティについて、「これは何」という風に進めるのではなく、議論を中心とした内容。参加者間での議論を通じ、セキュリティという概念についての共通理解と、その後の演習を進めるにあたっての準備を行いました。



○○14:00-16:00 華麗なる箱庭作成講座 基本編（講師：忠鉢洋輔）

今回のミニキャンプを通じて使われる「仮想マシン」について、しくみとメリット/デメリット、そしてセキュリティ上考えなければいけないことを解説し、実際に仮想マシンモニタ上で仮想マシンを構築・起動までしてもらうというを行いました。また、実際の攻撃という話を想定し、他者に迷惑をかけるような攻撃行為は罪であり、各種法令に基づいた罰も伴うということを説明しています。

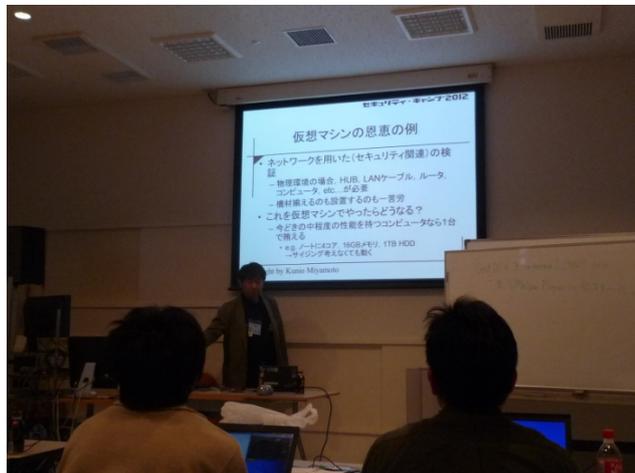


〇〇16:15-19:00 華麗なる箱庭作成講座 応用編（講師：宮本久仁男）

基本編で実施したことに引き続き、メリット／デメリットの簡単な解説と、仮想マシンモニタを用いて「ちょっと複雑な」ネットワークとネットワークに接続される機器の構成を実施してもらいました。

また、この時間で2012年度のセキュリティ・キャンプに関する紹介を、実施協議会の方々の紹介も交えて実施しています。

また、この中で実際に「仮想マシン検知の手法の1つ」を紹介し、攻撃者の考え方の一部についても軽く論じています。



〇1月20日（日）

〇〇10:00-12:00

華麗なる箱庭作成講座 応用編（講師：宮本久仁男，忠鉢洋輔）

1日目に作成した環境を用いて、実際に攻撃演習を行なってもらいました。

攻撃のために用いたものは、nmapやMetasploitをはじめとする脆弱性検査用のツールを搭載した、Back|Track Linux 5 Release 3ですが、悪意ある攻撃にも使えてしまうため、実際に使う際には「法律や常識に則り、迷惑をかけない」という話を強く主張しています。



〇〇13:00-16:00 やられサーバ解析 (講師: 濱本常義)

脆弱性試験にともなう心構えの話から始まり、実際に攻略された環境の解析や、脆弱性を持った環境を、前述の Back|Track Linux 5 Release 3 を用いて検査してもらい、実際に侵入というところまで実施してもらっています。
侵入や解析の結果については、ラストで発表してもらいました。



〇総評

夏に実施しているキャンプと違い、1日半という短い時間の中で、基本的なところから実践的なところまで紹介しつつ手を動かしてもらおうという、なんともハードなスケジュールでした。

それでも、今回使うものやコマンドライン操作に苦労しながらも、少しずつ自分だけの実験環境を揃えるという経験は、今後セキュリティに関する各種研究や実験を行うにあたり、大きなベースとなると考えていますし、参加してくれたみなさんも、意欲的に取り組んでいただいたと感じています。

今後もこのような取組を進めていって、学生さんをはじめとするより多くの方々が伸びるきっかけを作れば、と考えています。